

とやま こくさい

富山国際大学生が、道の駅で地域活性化を考えます

- 国土交通省では、地域の観光資源や魅力が集まる「道の駅」を、観光振興や地域づくりを学ぶ学生の実習の場として活用することを進めているところです。
- 現在、富山国際大学と、道の駅「^{となみ}砺波」及び、富山河川国道事務所の3者が、連携企画型の実習を実施しています。
- 今回、道の駅「ウェーブパークなめりかわ」でも地域活性化に向けた取り組みを実施することとなりましたのでお知らせ致します。

【実習内容】

- ① 道の駅「砺波」「ウェーブパークなめりかわ」にて利用者アンケート調査実施
- ② アンケート結果の集計・分析、課題の抽出、地域の活性化策の提案

【対象】

富山国際大学 現代社会学部 現代社会学科 3年生9名（2チーム）

【スケジュール】

- ・ 平成28年12月11日（日）：道の駅「砺波」で、アンケート調査実施済み
- ・ 平成29年 1月15日（日）：道の駅「ウェーブパークなめりかわ」にて
アンケート調査実施
- ・ 平成29年 2月下旬 ：研究成果報告会 開催

【報道機関の皆様へ】

アンケート調査当日に取材をされる場合は、10時～11時の間に、道の駅「ウェーブパークなめりかわ」の「観光案内所」に、お集まり下さい。

◆実施内容に関する問い合わせ

○富山国際大学現代社会学部 現代社会学科教授 ^{ながお はるあき} 長尾 治明

^{とやましひがしくろまき}
〒930-1292 富山県富山市東黒牧65-1

TEL：076-483-8000 FAX：076-483-8008

○道の駅「砺波」

一般社団法人砺波市観光協会 事務局長

^{あんち まこと}
安地 亮

^{となみしみやざわちよう}
〒939-1388 富山県砺波市宮沢町3番9号

TEL：0763-33-7666 FAX：0763-33-7669

○道の駅「ウェーブパークなめりかわ」内
滑川市観光協会 事務局長

^{ひろはし かずちか}
廣橋 和親

^{なめりかわしなかがわら}
〒936-0021 滑川市中川原410

TEL：076-476-9200 FAX：076-476-9201

◆制度に関する問い合わせ

○富山河川国道事務所 調査第二課長

^{あめたに たくや}
飴谷 卓也

^{とやましおくだしんまち}
〒930-0837 富山市奥田新町2番1号

TEL：076-443-4717（調査第二課直通）
FAX：076-443-4718

■富山国際大学（現代社会学部、子ども育成学部）

●基本理念

共存・共生の精神と知性を磨く教育を基本に、時代の潮流に対応できる、健全にして個性豊かな人材を育成して、国際社会および地域社会の発展に寄与します。

●現代社会学部の教育目標

これからの21世紀を支える、国際的センスを持った、地域に精通し、かつ常に時代の潮流に対応できる実践的な人材を育成すること。



■道の駅「砺波」

「道の駅 砺波」には、球根はもちろん、お菓子や花びら染めなどチューリップにこだわったユニークな商品がいっぱい。強いコシとなめらかな喉ごしが特徴の大門（おおかど）素麺や、清流庄川の水で育まれたお米、そして地酒などの特産品に加え、朝採れの新鮮野菜も揃い、おみやげ選びには事欠きません。



■道の駅「ウェーブパークなめりかわ」

富山湾に面する道の駅「ウェーブパークなめりかわ」は、海岸線から3000m級の立山連峰を仰ぎ見ることができ、「ほたるいかミュージアム」、「タラソピア」、「休憩施設」を核として、海、水に親しみ、自然を楽しむ施設として整備されました。特に「ほたるいかミュージアム」は、マーケット、レストランのゾーンとホタルイカの不思議な世界と深海を思い起こさせる、幻想的な光で演出されたミュージアムの2つのゾーンから成り、海洋療法のアイテムを採り入れた深層水体験施設とともに観光拠点、地域のシンボルとなっています。



「道の駅」と大学の連携について

- 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の実習や交流の場として活用。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ若者の交流により、**新たな価値の創造**を図り、観光・地域づくりを担う**将来の人材育成**や**地方創生**にも寄与。
- 就労体験型と連携企画型の2タイプを実施。

実施イメージ



※全国「道の駅」連絡会と国土交通省が連携して双方のニーズをマッチング

実施のメリット

＜大学のメリット＞

- 道の駅は、**地域の資源**が集中し、地方が直面する課題が明確であり、**学習するフィールドとして最適**

＜「道の駅」のメリット＞

- 若者ならではの視点、若者の元気による実行力のある企画の実施
- SNSや口コミなどを活用した**情報発信**

就労体験型と連携企画型について

項 目	就労体験型	連携企画型
期 間	夏期休暇を活用した 概ね2週間 以上の長期宿泊型を想定	通年の授業 の中での通いを想定
受入学生	全国 の大学を想定	道の駅 近傍 の大学を想定
受入人数	学生個人単位	ゼミ単位 (少人数～10名程度のグループを想定)
スケジュール	基本協定の締結 ～4月 大学への受入「道の駅」の提示 4～5月 学生の派遣希望聴取 学生と「道の駅」のマッチング 7～9月 就労体験実施	大学、「道の駅」のニーズ把握 大学と「道の駅」のマッチング 調整が整い次第、実習実施